

令和7年度 3大学協働基礎ゼミ履修案内

1. 目的

東京外国語大学、東京農工大学、電気通信大学の西東京3大学は、文系及び理系のそれぞれの強みを生かした「文理協働型グローバル人材育成プログラム」を実施しています。

本協働基礎ゼミは、上記教育プログラムの一環として開講し、3大学の担当教員が用意した特定のテーマに対して、少人数で取り組むゼミ形式の授業です。

今年度は、5テーマを設定しますが、自身が所属する大学以外の教員が開催するゼミにも参加が可能です。それぞれのテーマには、参加を希望した3大学の学部1～2年次生（東外大のみ1～4年次生）が混在する形で取り組み、調査及び考察結果の発表に向けて、文系・理系の分野の垣根を越えて協働することで、新たな視点の獲得、読解力、表現力、コミュニケーション能力、課題設定力及び課題解決力等の育成を目指します。

2. 開講時期

令和7年7月30日（水）～9月24日（水）

ゼミの開講日程は、テーマ別に設定します。

3. 対象学年、単位認定等

- ・ 受講対象となる学年は、以下のとおりです。
東京外国語大学：1～4年生、東京農工大学及び電気通信大学：1～2年生
- ・ 自由選択1単位（8コマ）を予定。成績評価は、各回の授業への参加姿勢、9月24日（水）に開催する合同発表会での発表内容等を踏まえて、総合的に評価します。なお、ゼミ形式の授業であるため、積極的な参加を期待します。
- ・ 単位認定の取扱いは、所属大学・学部の教務係に確認して下さい。
- ・ 基礎ゼミへの参加風景など、撮影した写真を広報用のweb及びパンフレット等に使用する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

4. 履修方法

- ・ 5テーマを設定し、1テーマあたりの配属人数は原則として10名程度とします。
- ・ 自身が所属する大学以外の教員が開催するゼミにも参加可能です。
- ・ 履修希望者は、希望調書を令和7年5月9日（金）14時までに、Googleフォームにて申請して下さい。
- ・ 履修希望者数によっては、本協働基礎ゼミへの参加または希望するテーマの履修ができない場合があります。テーマの希望順位は、必ず第3希望まで記載してください。
- ・ 希望者が多い場合、志望理由に基づいて選考いたします。これまでに履修している学生の応募は妨げませんが、未履修者を優先します。履修済みの学生は単位修得にはなりません。
- ・ 履修の可否及び配属テーマは、申請の内容をもとに判断して決定し、7月初旬を目途に、申請フォームに記載したE-Mailアドレス宛てに通知します。

- 東京農工大学では、協働基礎ゼミに関しては、成績は11月中旬頃、履修登録と合わせて教務がSIRIUSに登録いたします。(学生本人がSIRIUSに履修登録する必要はありません。)
- 原則として、履修決定通知後の履修辞退、履修取消しはできません。

5. 全体スケジュール

日 時		事 項
令和7年	4月	広報期間及び募集開始
	5月9日(金) 14:00まで	募集締切り
	7月初旬	配属テーマ等の通知 以降、各大学が定める履修登録 ※(農工大) 学生が SIRIUS に登録する必要はありません。 11月中旬頃、教務にて履修登録・成績登録を行います。
	7月30日(水) 17:30~18:30	合同オリエンテーション オンライン開催 ※履修希望者は必ず出席すること 以降、テーマごとに設定された日程で基礎ゼミ実施
	9月24日(水) 13:00~16:00	合同発表会 対面開催予定

6. 開講テーマ

番号	テーマ	担当教員 (所属大学)	開講日程
1	社会科学のためのゲーム作成入門	菊地 和也 (東京外国語大学)	第1回：合同オリエンテーション 第2回：9月8日(月) 10:10~11:40 第3回：9月8日(月) 12:40~14:10 第4回：9月9日(火) 10:10~11:40 第5回：9月9日(火) 12:40~14:10 第6回：9月10日(水) 10:10~11:40 第7回：9月10日(水) 12:40~14:10 第8回：合同発表会
2	人狼知能エージェント	戸田 貴久 (電気通信大学)	第1回：合同オリエンテーション 第2回：9月8日(月) 第3回：9月8日(月) 第4回：9月10日(水) 第5回：9月10日(水) 第6回：9月12日(金) 第7回：9月12日(金) 第8回：合同発表会

3	次世代暗号入門:構築から攻撃まで	王 イントウ (電気通信大学)	第1回: 合同オリエンテーション 第2回: 9月8日 (月) 13:00~14:30 第3回: 9月8日 (月) 14:40~16:10 第4回: 9月9日 (火) 13:00~14:30 第5回: 9月9日 (火) 14:40~16:10 第6回: 9月10日 (水) 13:00~14:30 第7回: 9月10日 (水) 14:40~16:10 第8回: 合同発表会
4	持続可能な開発とは何だろうかーSDGsを通して考える	吉田 央 (東京農工大学)	第1回: 合同オリエンテーション 第2回: 9月4日 (木) 午前 第3回: 9月4日 (木) 午後 第4回: 9月11日 (木) 午前 第5回: 9月11日 (木) 午後 第6回: 9月18日 (木) 午前 第7回: 9月18日 (木) 午後 第8回 : 合同発表会
5	最新の時事英語から国際情勢の読み解き方と生きた英語の読み方を学ぶ: 正確かつ精確に英語を読むコツを伝授する! (オンライン)	畠山 雄二 (東京農工大学)	第1回: 合同オリエンテーション 第2回: 9月8日 (月) 10:00~12:00 第3回: 9月9日 (火) 10:00~12:00 第4回: 9月10日 (水) 10:00~12:00 第5回: 9月11日 (木) 10:00~12:00 第6回: 合同発表会

※内容の詳細については、シラバスを参照してください。

※以下の日程についても必ずご出席ください。

① 合同オリエンテーション

日時: 令和7年7月30日 (水) 17:30~18:30

② 合同発表会

日時: 令和7年9月24日 (水) 13:00~16:00

令和7年度 3大学協働基礎ゼミ シラバス登録フォーマット

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和7年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	菊地和也		
居室	東京外国語大学 研究講義棟 554		
公開 E-Mail	kkikuchi@tufs.ac.jp		
授業関連 Web ページ	—		

講義情報

主題および達成目標	<p>テーマ名「社会科学のためのゲーム作成入門」</p> <p>テーマ概要:ゲーム理論では、複数のプレイヤー(人、組織、国など)が各自の目的に従って行動する状況を数理モデルの形に抽象化したものを、ゲームと呼んでいます。この授業では、現実の経済・政治等における社会的状況の中から研究対象を設定し、それをとらえたゲームを皆さん自身に作ってもらいます。社会現象を数理的にとらえることの面白さ、難しさを体験すること、他大学の学生と協働してテーマに取り組むなかで課題設定や課題解決に必要な力を身につけることが目標です。</p>
前もって履修しておくべき科目	—
前もって履修しておくことが望ましい科目	—
教科書等	教科書は特に指定しません。適宜、資料を配布したり、参考書を紹介したりします。
授業内容とその進め方	<p>第1回:合同オリエンテーション(7月30日(水))</p> <p>第2回:研究対象とする社会的状況を選ぶ(9/8【月】10:10~11:40)</p> <p>第3回:モデル化に向けたディスカッション—プレイヤーは誰?何を?目的は何?(9/8【月】12:40~14:10)</p> <p>第4回:ゲームを作る(9/9【火】10:10~11:40)</p> <p>第5回:ゲームに自由度を持たせる—パラメーターの設定(9/9【火】12:40~14:10)</p> <p>第6回:ゲームを考察する—何が起きるか?何が望ましいか?(9/10【水】10:10~11:40)</p> <p>第7回:比較静学—パラメーターを動かすとどうなるか?(9/10【水】12:40~14:10)</p> <p>第8回:合同発表会(9/24【水】午後)</p> <p>ゼミの開催場所は、合同オリエンテーションで周知する。</p>
授業時間外の学習	適宜指示します。

(予習・復習等)	
成績評価方法 および評価基準 (最低達成基準を含む)	各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。 ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。
オフィスアワー: 授業相談	面談を希望される場合はメールで予約してください。メールで相談していただいても構いません。
学生へのメッセージ	ゲーム理論という枠組みで何ができそうか、一緒に考えましょう。
その他	
キーワード	ゲーム理論、社会科学

令和7年度 3 大学協働基礎ゼミ シラバス登録フォーマット

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和7年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	戸田 貴久(電気通信大学 情報理工学域 I類(情報系)) Takahisa Toda (The University of Electro-Communications, School of Information Science and Technology (Information Systems))		
居室	電気通信大学西10号館8階820号室 Room 820, West Bldgs.10		
公開 E-Mail	toda@disc.lab.uec.ac.jp		
授業関連 Web ページ	—		

講義情報

主題および 達成目標	<p>テーマ名「人狼知能エージェント」 Artificial Intelligence Werewolf-Agent テーマ概要 人狼を題材にして、嘘をついて騙そうとしたり、それを見破ったり、理由を説明して説得したり、といった行為をコンピュータで実現する難しさについて考える。人狼知能エージェントの仕組みを学び、Python 言語によるエージェント開発を体験する。人間同士の対戦や過去の研究を参考にして、人間らしい思考や行動をエージェントで模倣するための着目点や工夫点について、参加者で意見を出し合って議論する。そのようなアイデアをエージェントで実現するための方法について検討する。</p> <p>The challenge of realizing actions such as lying, attempting to deceive, detecting lies, explaining reasons, and persuading others in the context of the game Werewolf will be considered. Participants will learn about the mechanics of artificial intelligence agents and experience the development of agents using Python (the purpose here is to gain experience, not to engage in programming during the discussion session). By referencing human-player matches and past research, participants will discuss key focus points and ideas for imitating human-like thinking and behavior in agents. The group will then explore methods for implementing these ideas in agents.</p>
前もって履修 しておくべき科目	—

前もって履修しておくことが望ましい科目	—
教科書等	なし
授業内容とその進め方	<p>第1回：合同オリエンテーション（7/30を予定） 第2回：人狼知能とは（9/8） 第3回：エージェントの仕組み・開発環境の構築（9/8） 第4回：エージェント開発入門（9/10） 第5回：人狼知能技術の解説（9/10） 第6回：討論会（9/12） 第7回：討論のまとめ（9/12） 第8回：合同発表会（9/24を予定）</p> <p>＊ゼミの開催場所・時間は、合同オリエンテーションで周知する。 ＊第3・4回ではコンピュータを使用する。ノートPCを持参することが望ましいが、難しい場合は貸し出すこともできるので、あらかじめ連絡してください。</p> <p>In parts 3 and 4, computers will be used. It is recommended to bring your own laptop, but if that is difficult, we can lend one to you. Please contact us in advance if you need.</p>
授業時間外の学習（予習・復習等）	特にありません。 None.
成績評価方法および評価基準（最低達成基準を含む）	各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。
オフィスアワー：授業相談	質問があればメールで連絡してください。 Contact me via e-mail if you have questions.
学生へのメッセージ	<p>授業の中で第3・4回ではコンピュータを用いますから、Linuxによるターミナルの基本操作に慣れていることが望ましいですが、エージェントの仕組みを学ぶことが目的ですから、難しい場合は聴講するだけでも構いません。以降の回ではコンピュータは使用しません。</p> <p>In parts 3 and 4, we will use computers, so it is desirable to be familiar with basic terminal operations in Linux. However, since the goal is to learn about the structure of agents, it is fine to simply attend the lectures if it is difficult for you. Computers will not be used in the subsequent parts.</p>
その他	
キーワード	人狼知能、不完全情報ゲーム、エージェント開発

令和7年度 3 大学協働基礎ゼミ シラバス登録フォーマット

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和7年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	王 イントウ (電気通信大学 情報理工学域 II 類 (融合系))		
居室	電気通信大学 東2号館 513号室		
公開E-Mail	y-wang@uec.ac.jp		
授業関連 Web ページ	—		

講義情報

<p>主題および 達成目標</p>	<p>テーマ名:「次世代暗号入門:構築から攻撃まで」 “Introduction to Next-Generation Cryptography: From constructions to attacks.” テーマ概要: 現代暗号は、様々な情報社会の安全性を支えるコア技術として日常生活で広く利用されている。例として、安全なネットショッピングなどの電子商取引やデジタルデータの著作権保護技術が挙げられる。公開鍵暗号の一つである RSA 暗号は、巨大な合成数の素因数分解の困難性に基づいているが、量子計算機を用いた Shor アルゴリズムにより、これらの安全性が脅かされている。このため、耐量子計算機暗号とも呼ばれる次世代暗号の研究が進められており、本講義では、その中でも格子暗号の基本原則と安全性評価法について簡単な例を用いて解説し、Python を用いた実装を通じて暗号化及び暗号解読の理解を深める。また、他大学の学生と協働してテーマに取り組むことで、課題設定や課題解決に必要な力を身につける。</p> <p>Modern cryptography is widely used in everyday life as a core technology underpinning the security of various aspects of the information society. Examples include secure online shopping (e-commerce) and digital data copyright protection. One form of public-key cryptography, RSA, relies on the difficulty of factoring large composite numbers, but Shor’s algorithm running on a quantum computer poses a threat to this security. As a result, research into quantum-resistant cryptography is advancing.</p> <p>In this lecture, we will focus on the fundamental principles and security evaluation methods of lattice-based cryptography—one candidate of post-quantum cryptography(also being called next-generation cryptography)—and deepen our understanding of encryption and decryption through Python-based implementations. Furthermore, by collaborating with students from other universities on these topics, participants will develop the skills necessary for problem identification and problem solving.</p>
-----------------------	--

前もって履修 しておくべき科目	—
前もって履修しておく ことが望ましい科目	—
教科書等	
授業内容と その進め方	<p>第1回: 合同オリエンテーション(7/30【水】を予定)</p> <p>第2回: 暗号の数理基礎(9/8【月】 13:00~14:30)</p> <p>第3回: Python の基礎(9/8【月】 14:40~16:10)</p> <p>第4回: 格子暗号の仕組み(9/9【火】 13:00~14:30)</p> <p>第5回: 解読アルゴリズムの仕組み(9/9【火】 14:40~16:10)</p> <p>第6回: 実装実験(9/10【水】 13:00~14:30)</p> <p>第7回: 実験のまとめ(9/10【水】 14:40~16:10)</p> <p>第8回: 合同発表会(9/24【水】を予定)</p> <p>ゼミの開催場所は、合同オリエンテーションで周知する。</p>
授業時間外の学習 (予習・復習等)	
成績評価方法 および評価基準 (最低達成基準を含む)	<p>各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。</p> <p>ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。</p>
オフィスアワー: 授業相談	
学生へのメッセージ	
その他	
キーワード	

令和7年度 3大学協働基礎ゼミ シラバス登録フォーマット

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和7年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	吉田 央		
居室	東京農工大学府中キャンパス2号館 104C		
公開 E-Mail	HALLA@cc.tuat.ac.jp		
授業関連 Web ページ	—		

講義情報

主題および 達成目標	<p>テーマ名「持続可能な開発とは何だろうかーSDGsを通して考える」 テーマ概要</p> <p>2015年の国連総会で、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals, SDGs)が採択されました。SDGsは、2030年までに、貧困の解消やジェンダー平等、生態系の保全など17の世界的な目標の達成を目指すものです。</p> <p>SDGsの目標年次である2030年まで残りあと5年となった今、SDGsに掲げられた目標がどういう状況になっているのか(どこまで達成されているのか)を確認しながら、「持続可能な開発」とは何だろうか、どうあるべきだろうかを考えようと思います。</p> <p>第2回目と第3回目は、前提となる情報を教員が説明します。第4回目から第6回目までは、各目標の達成状況などについて参加者に分担して調べて発表してもらい、それに基づいて参加者で議論します(SDGsには169もの達成基準がありその全てを授業時間中に取り上げるのは不可能なので、その中から参加者の関心が高いものを選んで取り上げます)。第7回目は合同発表会の準備をしてもらいます。授業時間のうち、「午前」は農工大の2時限目(10時30分~12時)、「午後」は3時限目(13時~14時30分)を予定しています。</p> <p>達成目標 他大学の学生と協働してテーマに取り組むことで、課題設定や課題解決に必要な力を身につける。</p>
前もって履修 しておくべき科目	—
前もって履修しておく ことが望ましい科目	—
教科書等	教科書は使用しませんが、最初の授業の時に参考書を指示します。なお、事前に

	SDGs の概要を把握しておいていただけるとありがたいです。「学生にお勧めする本」のブログをやっていますので参考にしてください。https://yoshidahiro.blogspot.com/
授業内容とその進め方	<p>第 1 回: 合同オリエンテーション(7/30【水】)</p> <p>第 2 回: 授業の進め方の打ち合わせ + 南北問題とは何か(講義)(9/4【木】午前)</p> <p>第 3 回: SDGs に至る経緯(講義)(9/4【木】午後)</p> <p>第 4 回: SDGs 目標①～⑥について(9/11【木】午前)</p> <p>第 5 回: SDGs 目標⑦～⑫について(9/11【木】午後)</p> <p>第 6 回: SDGs 目標⑬～⑰について(9/18【木】午前)</p> <p>第 7 回: 合同発表会の準備(9/18【木】午後)</p> <p>第 8 回: 合同発表会(9/24【水】)</p> <p>ゼミの開催場所は、合同オリエンテーションで周知する。</p>
授業時間外の学習 (予習・復習等)	第 4 回から第 6 回までの各回で参加者に発表をしてもらいますので、その準備をしてきてください。
成績評価方法 および評価基準 (最低達成基準を含む)	各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。 ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。
オフィスアワー: 授業相談	授業修了後に質問等受け付けます。
学生へのメッセージ	現在の世界は、さまざまな深刻な問題に直面しています。ぜひ、それらの問題を解決して、世界をよりよい場所にするという意志を持ってもらいたいです。
その他	特になし
キーワード	持続可能な開発、SDGs、南北問題

令和7年度 3大学協働基礎ゼミ シラバス

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和7年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義(オンライン)	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	畠山 雄二		
居室	12号館3階328号室		
公開E-Mail	hatayu@cc.tuat.ac.jp		
授業関連 Web ページ	—		

講義情報

主題および 達成目標	<p>最新の時事英語から国際情勢の読み解き方と生きた英語の読み方を学ぶ:正確かつ精確に英語を読むコツを伝授する!</p> <p>受験英語の英文法の知識だけでは時事英語を正確かつ精確に読むことはできません。一歩進んだ、いや二歩進んだ英文法の知識をゲットしてホンモノの精読を体験してみよう!</p> <p>他大学の学生と協働してテーマに取り組むことで、課題設定や課題解決に必要な力を身につける。</p>
前もって履修 しておくべき科目	—
前もって履修しておく ことが望ましい科目	—
教科書等	教科書は使いません。プリントを配布します。
授業内容と その進め方	<p>第1回:合同オリエンテーション</p> <p>第2回:最新の Wall Street Journal を精読する その1(9/8【月】10時~12時</p> <p>第3回:最新の Wall Street Journal を精読する その2(9/9【火】10時~12時</p> <p>第4回:最新の Wall Street Journal を精読する その3(9/10【水】10時~12時</p> <p>第5回:最新の Wall Street Journal を精読する その4(9/11【木】10時~12時</p> <p>第6回:合同発表会</p> <p>ゼミの開催場所は、合同オリエンテーションで周知する。</p>
授業時間外の学習 (予習・復習等)	基礎的な英文法の知識を整理しておいてください。

成績評価方法 および評価基準 (最低達成基準を含む)	各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。 ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。
オフィスアワー： 授業相談	メールで気軽に質問してください。
学生へのメッセージ	まじめに英語を勉強したい学生さんには有意義な授業となるでしょう。
その他	
キーワード	